

石原 美和（実践教育センター、保健福祉学部、大学院保健福祉学研究科兼務）

1 著書

- 1) 石原美和 介護福祉養成講座編集委員会編. 介護福祉士養成講座 8 生活支援技術Ⅲ 第 2 班. 2022. 【内部障害】HIV による免疫機能障害に応じた介護 中央法規出版. 146 - 157.

2 学術論文

- 1) 作田竜一, 木村眞子, 橋本陽介, 庄子真樹, 石原美和. (2021). 農業分野における ICT を活用した重度身体障害者の就労可能性—知識集約型産業としての農業の新たな担い手に関する考察. (査読付き論文). 農業経済学会誌, 93(1), 41-46.
- 2) 石原美和. (2021). 実践教育センターの現状と課題そして将来展望, 神奈川県立保健福祉大学誌, 18(1), 3-8.
- 3) ハッ橋のぞみ, 石原美和. (2021). 新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部転院搬送調整班における看護師の活動の考察, 神奈川県立保健福祉大学誌, 18(1), 103-109.

3 その他の著作

- 1) 石原美和, 島田恵, 八鍬類子. (2022). 藤谷順子 (研究代表者), 非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究に関する研究班報告書: 石原美和 (研究分担者), HIV/AIDS 患者の精神健康と認知された問題の変遷 25 年間の縦断的研究. <http://kyusai.acc.go.jp/pdf/ishiharaR1.pdf>
- 2) 石原美和. (2021)令和 2 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業: 訪問看護師による認知症高齢者と家族の支援に関する調査研究事業. 訪問看護ステーションニュース, No.163,10-11.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省 大臣官房厚生科学課 厚生労働科学特別研究中間・事後評価委員会委員. 2021,7～2022,3.
- 2) 神奈川県教育委員会神奈川県立二俣川看護福祉高等学校運営協議委員,2021,4～2022,3.
- 3) 神奈川県看護職員の確保及び資質向上推進委員会委員 2021,8～2022,3.
- 4) 神奈川県保健師人材養成・確保に関する検討作業委員会委員長 2022,1月～2022,3.
- 5) 公益社団法人神奈川県看護協会 将来構想策定委員会 2021,5～2022,3.
- 6) 特定非営利活動法人福祉フォーラムジャパン 企画委員会委員 2021,4～2022,3.
- 7) 一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協議会・医療経済研究機構. 厚生労働省令和元年老人保健健康増進事業「介護保険制度の実施状況に係る全体像把握のためのツールを活用した研修プログラムの開発等に関する調査研究事業」検討委員会委員 2021,8～2022,3.
- 8) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 「AI (人工知能) ホスピタルによる高度診断・治療システム」倫理的法的社会的課題委員会委員,2021,4～2022,3.
- 9) PwC コンサルティング合同会社 介護サービスの質の評価指標の開発に関する調査研究事業における検討委員会委員,2021,9～2022,3.

- 10) 国立研究開発法人国立国際医療開発研究センターエイズ治療・研究開発センターにおける客員研究員,2021,4～2022,3.

5 社会貢献

- 1) 日本赤十字看護大学看護学研究科博士前期課程非常勤講師「基礎看護学特講Ⅳ」, 2015.4.～2022.3.
- 2) 日本赤十字看護大学看護学研究科博士前期課程非常勤講師「看護管理学特講Ⅱ」, 2021.12～2022.3.
- 3) 日本赤十字看護大学看護学研究科博士前期課程非常勤講師「看護管理学特講Ⅱ」, 2021.12～2022.3.
- 4) 令和3年度 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 公開講座(座長)「新型コロナウイルス感染症 パンデミックの行方～医療従事者の奮闘の先にあるもの～」石原美和, 前田光哉, 黒木利恵, 岡部信彦(2021年4月24日)
- 5) WHO 西太平洋地区事務所 Webinar Series(シンポジウム・講演)(招待有り)「The Challenge of Japan for The Dementia in Super aged society as Frontrunner of Western pacific region. Social innovation efforts in Japan. (2021年12月10日)
- 6) T-UNITE イベント「看護・ケア現場からのイノベーションの創出—地域リソースを活かして—」講演「イノベーションにおける実践教育センターと看護の可能性」・シンポジスト(主催)Web(SHI・実践教育センター・川崎市)(2022年2月9日)

6 講演, 放送

- 1) 学内研究発表会 Web 開催. 「薬害 HIV 感染患者の精神健康・身体症状・生活の満足度に関する 27 年間の縦断調査と患者との振り返り(中間報告)」石原美和, 島田恵, 大金美和, 松永早苗, 八鍬類子, 佐藤直子, 池田和子, 柿沼章子, 武田飛呂城, 2021 年 8 月 23 日

7 学会等での活動

- 1) 第9回日本感染症管理ネットワーク学会学術集会 学会発表(掲示) Web 開催. 「時を超えて考えるハンセン病療養所の生活」松永早苗, 森谷恵子, 菊地義弘, 石原美和, 2021 年 5 月 14～6 月 13 日.
- 2) 第11回日本在宅看護学会 学会発表(口頭発表) Web 開催. 「看護事業所である療養通所介護事業所への制度改正の影響に関する考察」石原美和, 徳永幸之, 橋本敬史, 佐藤美穂子, 松永早苗, 柴山志穂美. 2021 年 11 月 13・14 日.
- 3) 第67回 神奈川県公衆衛生学会 学会発表(口頭発表) Web 開催. 「療養通所介護事業の運営実態に合わせた診療報酬体系の考察」大場紅莉, 石原美和, 2021 年 11 月 17 日.
- 4) 第67回 神奈川県公衆衛生学会 学会発表(口頭発表) Web 開催. 「A 保育所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの検討」中村由佳, 松永早苗, 石原美和, 2021 年 11 月 17 日.
- 5) 第35回日本エイズ学会学術集会 学会発表(口頭発表) Web 開催. 「薬害 HIV/AIDS 患者の精神健康・身体症状・生活の満足度に関する 25 年間の縦断調査と患者との振り返り(中間報告)」石原美和, 島田恵, 大金美和, 松永早苗, 八鍬類子, 佐藤直子, 池田和子, 柿沼章子, 武田飛呂城, 2021 年 11 月 21 日～23 日.

- 6) 第41回日本看護科学学会学術集会 学会発表(口頭発表) Web開催。「コミュニティケアにおける看護職と自治体の効果的な連携の一考察」柴山美穂子, 石原美和, 松永早苗, 2021年12月4・5日.

8 学内教育活動

- 1) 看護学科2年「看護関係法規」4コマ
- 2) 看護学科 学部4年「看護管理学」1コマ
- 3) 保健福祉学研究科看護領域 博士前期課程 「看護管理学政策特論」2コマ
- 4) 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 「ヘルスケアシステム論Ⅰ」2コマ
- 5) 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル「統合演習Ⅰ」発表会 4コマ
- 6) 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル「統合演習Ⅱ」実践計画発表会 4コマ
- 7) 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル「フォローアップ研修」評価者 4コマ
- 8) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「ヘルスケアシステム論Ⅲ」2コマ
- 9) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「統合演習Ⅲ」政策提言発表会 2コマ
- 10) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「統合演習Ⅲ」実践報告会 4コマ
- 11) 看護教育課程「研究発表会」4コマ

9 学内各種委員会活動

- 1) 審査機関 自己評価・内部質保証審査会
- 2) 審査機関 内部質保証推進部会
- 3) 地域貢献研究センター 地域貢献研究センター運営会議
- 4) イノベーション政策研究センター イノベーション政策研究センター運営会議
- 5) 実践教育センター 実践教育センター運営会議
- 6) 実践教育センター 実践教育推進委員会

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 令和元年度～令和4年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)4, 860千円 「訪問看護ステーション等の地域における看護事業所の制度的基盤整備に関する研究」主任研究者: 石原美和
- 2) 令和3年度～令和5年度 厚生労働科学研究費補助金 23,000千円 「非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病患者の長期療養体制構築に関する患者参加型研究班」主任研究者: 藤谷順子 分担研究者・研究代表者: 石原美和 (令和3年度1,900千円) 「分担者課題名: HIV/AIDS患者の精神健康と認知された問題の変遷—25年の縦断的研究—」

14 その他

- 1) 日本看護協会からの定員増の要請に対応するため、聖マリアンナ医科大学病院看護部から、非常勤教員の派遣の了承を得て、日本看護協会からの定員増給付金の要件をクリアできた。
- 2) 来年度の感染管理認定看護師養成課程の教員について、聖マリアンナ医科大学病院東横病院看護部に専任教員の派遣を交渉し、了承を得た。日本看護協会定員増給付金の申請要件をクリアできた。

- 3) 県庁からの要請に対し、感染管理専門家教員2名をC-CATとして、クラスター発生病院・施設へ派遣した。その他教員を県庁、及び保健所へ派遣し、県衛生行政に貢献した。
- 4) 来年度の教員確保として、臨任職員や契約職員の求人をナースセンターや求人サイトを活用して行い、大学教員経験者の採用を行った。
- 5) 学内研究発表会（2021年8月23日）で、学部兼務教員3名全員が研究発表を行った。
- 6) イノベーション研究科と産学官連携 T-UNITE を共同開催し、ワークショップの成果について実践教育センターから発表した。実践教育センターの学生をワークショップに参画させ、看護の立場から他業種との積極的な関与が、新たな開発につながるということについて発言した。
- 7) WHO 西太平洋事務局によるシンポジウムで、日本と韓国における認知症対策のイノベーションについて、日本の認知症対策のソーシャルイノベーションについて発表し、ディスカッションに参加した。

柴山 志穂美 (実践教育センター)

1 著書

- 1) 白澤政和. 内田陽子. 遠藤英俊. 岡田進一. 小澤温. 福富昌城. 柴山志穂美. 他複数名.
(2021). ケアマネジメント辞典. ケアマネジメントプロセスと関連プロセス「10 退院計画」. 中央法規出版株式会社. 66 - 67.
- 2) 櫻井恵美. 柴山志穂美. 白井孝子他 12 名. (2022). 最新介護福祉士養成講座 8 生活支援技術Ⅲ第 2 版. 第 3 章第 3 節. 高次脳機能障害に応じた介護. 中央法規出版株式会社. 219-230.
- 3) 秋山昌江. 遠藤英俊. 川手信行. 柴山志穂美. 白井孝子. 他 7 名. (2022). 最新介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ第 2 版. 第 9 章人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみ. 中央法規出版株式会社. 270-305.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本ケアマネジメント学会, 評議員, 2007. 6. ～
- 2) 一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構, 研修認証委員会科目審査委員, (申請された科目に関する審査) 2016. ～
- 3) 日本老年学会ありかた委員会委員, (加入する 8 学会より選出された委員により構成、会則改定や学会の英語表記、高齢者の運転に関するテーマ等について議論), 2019. 8. ～ 2021. 6.
- 4) 日本老年学会, 将来計画委員会委員, (加入する 8 学会より選出された委員により構成、日本老年学会総会や将来的な発展に向けた議題について検討), 2019. 8. ～
- 5) 一般社団法人日本ケアマネジメント学会, 理事, 2021. 6. ～
- 6) 一般社団法人日本ケアマネジメント学会, 学会誌編集委員, 2021. 6. ～
- 7) 一般社団法人一般社団法人日本ケアマネジメント学会, 第 20 回研究大会演題発表優秀賞選考委員. 2021. 6. 28.
- 8) 一般社団法人日本ケアマネジメント学会, 第 21 回学術大会実行委員, (第 21 回研究大会の実施に関する、プログラムや講師調整など研究大会の実施に向けた企画・調整・実施) 2021. 6. ～
- 9) 一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構 研修認証委員会委員 (科目審査委員の審査結果を基に総合的な認証審査の検討・判定), 2021. 8. ～

5 社会貢献

- 1) 公益社団法人埼玉県看護協会埼玉地域看護研修センター: 令和 3 年度埼玉県専任教員養成講習会: 専門領域別看護論演習「地域・在宅看護論」講義・演習 4 時間, 2021. 7. 16.
- 2) 社会福祉法人小平市社会福祉協議会: 「小平市ケアプラン研修 - ファシリテーションを学ぼう -」主任ケアマネジャーを対象とした講義・演習 3 時間, 2021. 8. 27.
- 3) 公益法人日本看護協会看護研修学校: 2021 年度認定看護師教育課程 認知症看護学科 認知症の人のケアマネジメント 認知症における連携のシステムづくり「市町村等の自治体や地区医師会等との連携」講義・演習 1.5 時間および筆記試験の問題作成と採点, 2021. 9. 30.

- 4) 文京区：令和3年度文京区主任介護支援専門員連絡会（研修会）「日常業務に活かすフアシリテーション」，講義・演習 2.5 時間，2022. 2. 25.

7 学会等での活動

- 1) 渡邊直，宇都由美子，廣瀬弥幸，坂田薫，柴山志穂美．（2021）．「生活機能サマリーに向けた有用な生活機能評価の方法～ICF 準拠の標準的表記を目指して～」．第 25 回日本医療情報学会春季学術大会．
- 2) 柴山志穂美，川越雅弘，田口孝行，白倉京子，丸山優，河合綾香，阿部佳子，磯野祐子，白島智子．（2021）．統合アセスメントの推進に関する研究－多職種の見点を入れたケアマネジメントの展開に向けて－．学内研究発表会．
- 3) 石原美和，徳永幸之，橋本敬史，佐藤美穂子，松永早苗，柴山志穂美（2021）．看護事業所である療養通所介護事業所への制度改正の影響に関する考察．第 11 回日本在宅看護学会学術集会．
- 4) 坂田薫，渡邊直，柴山志穂美．（2021）．共同企画 12 標準化退院時サマリーの次の標準化へ入院患者の生活機能サマリーの試行評価 - ICF に準拠した情報の活用に向けて - ．日本医療情報学会 第 41 回医療情報学連合大会（第 22 回日本医療情報学会学術大会）
- 5) 柴山志穂美，石原美和，松永早苗．（2021）．コミュニティケアにおける看護職と自治体の効果的な連携の一考察．第 41 回日本看護科学学会学術集会．

8 学内教育活動

- 1) 大学
大学誌の査読 神奈川県立保健福祉大学誌（第 19 巻第 1 号）の査読を担当した。
- 2) 実践教育センター
多職種連携推進課程「多職種で支えるヒューマンサービス」専門職連携（IPW・IPE）の基本，4 時間を担当した。2021.6.26
- 3) 実践教育センター
多職種連携推進課程「地域包括ケアの実際と多職種連携」社会資源の活用と創出．4 時間を担当した。2021.9.11
- 4) 実践教育センター授業担当
教員・教育担当者養成課程（介護コース）「介護福祉学」介護過程とは，2 時間を担当した。2021.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 石原美和（研究代表者），柴山志穂美（研究分担者）．「訪問看護ステーション等の地域における看護事業所の制度的基盤整備に関する研究」事業者へのヒアリング調査および分析を担当，独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤 C 一般，2019～2021.

14 その他

- 1) 実践教育センター教育課程カリキュラムの見直し
カリキュラム検討部会の部会長として，5 課程 8 コースの教育カリキュラムについて，見直し方針を定め組織横断的な見直しを推進した。

- 2) 組織的な授業評価の取組み
カリキュラム検討部会長として、教育課程における授業評価について整理・統合を行い、組織的な分析につなげるための共通の指標を作成した。
- 3) 地域や行政ニーズの把握と分析
県の関係部署担当者、県立病院機構（県立病院看護部長）、神奈川県訪問看護ステーション協会会長・副会長へのヒアリングを行い、教育カリキュラム見直しへの知見を得、今後の見直し方針の基礎資料とした。
- 4) 実践教育センターの教育方針に関する組織的な検討
「実践教育センターでの学び」における、教育方針、教育の特徴、「実践教育センターの授業形式」について、入試、カリキュラム、教務の視点から組織全体で検討を重ね、実践教育センターのパンフレットおよび令和4年度学生募集要項、HP等に反映した。
- 5) 将来を見据えた中長期的な実践教育センターのあり方の検討
将来構想と中期計画・中期目標を踏まえた、教育事業計画の作成および令和4年度教育事業計画を立案した。今後の組織的な検討をさらに推進するため、実践教育センター内における教職員へのヒアリングや部会組織での検討を行っている。
- 6) 地域ケア教育部長として教育課程の運営管理
保健福祉分野「多職種連携推進課程」、「教員・教育担当者 介護コース」の体系的なカリキュラムの検討と講師調整および「栄養ケア・マネジメント課程」含む3課程の充実・強化に向けた進捗管理を行った。
- 7) 3部会の連携による組織的運営
大学の内部質保証部会の進捗状況を踏まえて、実践教育センターにおける3つのポリシーについて、カリキュラム検討部会・教務部会・入試部会での検討を推進した。
- 8) 大学の内部質保証点検ポートフォリオ基準3「特色ある教育研究の進展」に関する本学の取組みについて—大学の理念に基づいた継続教育の実践に関する取組み【実践教育センター】、実践教育センター内の意見を取りまとめ執筆した。

松永 早苗（実践教育センター・保健福祉学部）

1 著書

- 1) 松永早苗, 早坂聡久編, (2021). 介護施設の感染症対策のための体制整備について. チェックリストと事例でわかる! 介護施設の災害・感染症対応, 株式会社ぎょうせい (150-170).
- 2) 松永早苗, 残間由美子編, (2021). 障害者施設における感染対策 Do&Do Not. 療養型病院&高齢者施設&精神科病&障害者施設新型コロナウイルス Do&Do Not. INFECTION CONTROL5. Vol30. MC メディカ出版 (96-102).
- 3) 松永早苗, (2021). ウイルスの種類とその感染経路. ウイルス感染予防に役立つ化学工学. 化学工学特集 85(7). 公益社団法人化学工学会 (375-377).
- 4) 磯邊厚子, 植村小夜子, 戸田美幸, 松永早苗, (2021). 女性と子どもの健康が未来を拓くケイパビリティ・アプローチ. 晃洋書房.
- 5) 松永早苗, 多湖ゆかり編, (2022). ウィズコロナ時代に入職する医療従事者として心得ておきたいこと. ウィズコロナだからこそ伝えよう! 感染対策の新人研修の教え方のワザ&使えるデータ集. INFECTIONCONTROL4. vol31. MC メディカ出版 (67-70).

3 その他の著作

- 1) 松永 早苗, 黒木 利恵, 佐々木 杏子, 駿藤 晶子, 石井 忍, 藤田 峰子, 長山 洋史, 城川 美佳, 渡邊 亮. (2022). 報告1 新型コロナウイルス感染症に対する国・神奈川県への対応と社会情勢. 学長特別プロジェクト「ウィズコロナの社会における保健・医療・福祉のあり方に関する総合的研究」報告書, 11-24.
- 2) 渡邊 亮, 佐々木 杏子, 駿藤 晶子, 石井 忍, 藤田 峰子, 長山 洋史, 城川 美佳, 黒木 利恵, 松永 早苗. (2022). 報告2 神奈川県立保健福祉大学における新型コロナウイルス感染症への対応と今後の展望: 文献調査に基づく本学の対応の全体像. 学長特別プロジェクト「ウィズコロナの社会における保健・医療・福祉のあり方に関する総合的研究」報告書, 25-38.
- 3) 藤田 峰子, 駿藤 晶子, 長山 洋史, 佐々木 杏子, 石井 忍, 城川 美佳, 黒木 利恵, 松永 早苗, 渡邊 亮. (2022). 報告3 新型コロナウイルス感染症流行下における教員の教育・研究活動への取り組みと生活習慣への影響について —アンケート調査による実態把握—. 学長特別プロジェクト「ウィズコロナの社会における保健・医療・福祉のあり方に関する総合的研究」報告書, 39-54.
- 4) 駿藤 晶子, 加藤 千穂, イスハク ハリム オクタウィジャヤ, 佐々木 杏子, 石井 忍, 藤田 峰子, 長山 洋史, 城川 美佳, 黒木 利恵, 松永 早苗, 渡邊 亮. (2022). 報告4 新型コロナウイルス感染症が学生生活に及ぼす影響—アンケート調査による実態把握—. 学長特別プロジェクト「ウィズコロナの社会における保健・医療・福祉のあり方に関する総合的研究」報告書, 55-84.
- 5) 城川 美佳, 佐々木 杏子, 駿藤 晶子, 石井 忍, 藤田 峰子, 長山 洋史, 黒木 利恵, 松永 早苗, 渡邊 亮. (2022). 報告5 新型コロナウイルス感染症パンデミックに対する本学教職員の研究・社会貢献活動. 学長特別プロジェクト「ウィズコロナの社会における保健・医療・福祉のあり方に関する総合的研究」報告書, 85-92.
- 6) 渡邊 亮, 佐々木 杏子, 駿藤 晶子, 石井 忍, 藤田 峰子, 長山 洋史, 城川 美佳, 黒木

利恵, 松永 早苗. (2022). 報告6 神奈川県立保健福祉大学における新型コロナウイルス感染症への対応と今後の展望: 総括と提案. 学長特別プロジェクト「ウイズコロナの社会における保健・医療・福祉のあり方に関する総合的研究」報告書, 93-98.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本国際看護学会理事, 研究委員長 (2020～現在)
- 2) 特定非営利活動法人みやぎ感染予防教育推進ネットワークきれいな手理事 (2021～現在)
- 3) 独立行政法人国際協力機構青年海外事務局 JICA 海外協力隊技術専門委員 (2020～現在)
- 4) 独立行政法人国際協力機構・国際緊急援助隊感染症対策チーム (2016～現在)

5 社会貢献

- 1) 東北福祉大学健康科学部保健看護学科, 国際看護論「災害時の感染対策 青年海外協力隊の経験, 新型コロナウイルス感染症」を担当: 1 コマ (90 分授業).
- 2) 公立大学法人福島県立医科大学大学院医学研究科災害・被ばく医療科学共同専攻国際被ばく保健看護学講座, 博士前期課程, 「国際看護と感染症」を担当: 2 コマ (90 分授業).

6 講演, 放送

- 1) Yokoyama, F., Matsunaga, S. Difficult Factors in Responding to Emergency Situations at Respite Care for the Elderly: From the Perspective of Nurses. EAFONS2021 24th EASTASIAN FORUM OF NURSING SCHOLARS. Poster. 2021.4.15-16.
- 2) 松永早苗. NPO 法人福祉フォーラム・ジャパンオンラインセミナー「新型コロナウイルス医療・介護にとっての対応課題」の講師. 2021.6.26.
- 3) 松永早苗, 森谷恵子, 菊地義弘, 石原美和. 時を超えて考えるハンセン病療養所の生活, 第9回日本感染管理ネットワーク学会学術集会. ポスター発表. 2021.5.14-6.13.
- 4) 松永早苗. 社会福祉専門講座5「施設内の感染症予防対策～冬季に流行する感染症と新型コロナウイルス感染症研修」の講師. 主催: 社会福祉法人山形県社会福祉協議会山形県社会福祉研修センター. 2021.7.13.
- 5) 松永早苗. 特定非営利活動法人地域共生政策自治体連携機構介護サービス相談現任研修「高齢者の感染症予防と熱中症予防」の講師 (録画).
- 6) 松永早苗, 石原美和, 押谷仁. パンデミック発生時に国際支援を担う看護職の準備教育プログラムの開発. 学内研究発表会. 2021.8.23.
- 7) 松永早苗. 日本国際看護学会第5回学術集会教育講演「SDGs コロナと共に生きる新しい生活」の講師. 2021.9.4.
- 8) 中村由佳, 松永早苗, 石原美和. A 保育所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの検討. 第67回神奈川県公衆衛生学会. 口演. 2021.11.17
- 9) 石原美和, 島田恵, 大金美和, 松永早苗, 八鍬類子, 佐藤直子, 池田和子, 柿沼章子, 武田飛呂城. 薬害 HIV/AIDS 患者の精神健康・身体症状・生活の満足度に関する25年間縦断調査と患者との振り返り (中間報告). 第35回日本エイズ学術集会・総会. 口演. 2021.11.21-11.23.
- 10) 柴山志穂美, 石原美和, 松永早苗. コミュニティケアにおける看護職と自治体の効果的な連携の一考察, 第41回日本看護科学学会学術集会. 口演. 2021.12.4.

- 11) 松永早苗. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター, ヘルスイノベーション研究科, 川崎市主催「看護・ケア現場からのイノベーションの創出」において「感染症対応に関する看護・ケア現場の困りごと」ワークショップを発表. 2022.2.9.

7 学会等での活動

- 1) 日本国際看護学会理事、研究委員長（2020年10月～現在）として、学会の運営並びに学会員の研究を支援する活動を実施した。
- 2) 日本国際看護学会第5回学術集会実行委員として、日本国際看護学会第5回学術集会の企画と運営を行った。
- 3) 日本国際看護学会第6回学術集会準備委員会として、日本国際看護学会第6回学術集会の準備を行っている。
- 4) 特定非営利活動法人みやぎ感染予防教育推進ネットワークきれいな手を設立し、理事（2021年～現在）として宮城県における地域の感染対策を支援する活動を実施した。

8 学内教育活動

- 1) 感染管理認定看護師教育課程, 感染管理学と相談（医療関連感染の予防と管理に関する施設内外での指導, 指導計画の立案と評価, 指導の実際）12時間（1時間45分換算）ファシリティマネジメントの原理と原則（9時間）, 学内演習（感染防止技術プログラム立案, 医療関連感染サーベイランス計画立案, 感染防止技術プログラム立案, 職業感染予防プログラム立案, 感染管理指導プログラム立案, 洗浄・消毒・滅菌とファシリティマネジメントプログラムの立案, 医療関連感染・管理プログラム発表会の実施）（45時間）, 臨地実習学内演習（12時間）, 臨地実習（180時間：20日間）を担当した。
- 2) 感染管理認定看護師教育課程卒業生フォローアップ研修を今年度から初めて企画し、実施した。今後は、継続的に実施していく。
- 3) 研究入門講座, 研究入門のStep1の講義（4回コース）の運営した。
- 4) 令和3年度新規事業：高齢者福祉施設等感染予防スタッフ育成研修, 県からの委託事業の計画, 立案, 実施を行った。

9 学内各種委員会活動

- 1) 実践研究担当課長の役割：実践教育センターの研究事業について推進のための準備を行った。実践教育センターにおける教職員の研究活動を推進する取り組みを実施した。
- 2) 研究活動部会の運営：適宜会議を開催し, 研究部の規定, 計画を作成した。研究成果共有会を2回実施した。計6名の教員が研究活動、教育活動を発表した。教職員の科研費取得に向けて支援を実施した。研究開発プラットフォームに向けて, 研究費の取得に挑戦した。研究に関連する実践教育センターの取り組みを, ホームページで適宜紹介した。
- 3) FD部会の運営：教職員の教育の質を向上するためにFDの企画と運営を行った。カリキュラム改正を考えた内容とし, 外部講師を招いての研修会2回, FD部会からの情報提供1回, 計3回のFDを実施した。
- 4) カリキュラム部会：カリキュラムの改正に向けて部会員として意見交換を行った。
- 5) ヘルスイノベーション研究科, 川崎市とシンポジウムを共催：ヘルスイノベーション研究科と「看護・ケア現場からのイノベーションの創出」のシンポジウム開催に向けて感

染管理認定看護師教育課程の学生を対象にケア現場の困りごと（ニーズ）抽出ワークショップを2回実施した。シンポジウムでは、ワークショップにおける結果を紹介した。

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 平成31年～令和3年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究 B, 10,530千円（直接経費: 8,100千円, 間接経費: 2,430千円), 研究課題: 「スリランカ農園地域の働く母と子どもの自由の拡大ー潜在能力アプローチの実践的研究」主任研究者: 磯邊 厚子, 分担研究者: 松永早苗.
- 2) 平成31年～令和3年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究 C, 4,290千円（直接経費: 3,300千円, 間接経費: 990千円), 研究課題: 「訪問看護ステーション等の地域における看護事業所の制度的基盤整備に関する研究」主任研究者: 石原美和, 分担研究者: 松永早苗（令和3年度より分担）.
- 3) 令和2年～令和6年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究 C, 3,900千円（直接経費: 3,000千円, 間接経費: 900千円), 研究課題: 「高齢者ショートステイにおける急変時対応スキル育成のための基礎的研究」主任研究者: 横山詞果, 分担研究者: 松永早苗.
- 4) 令和2年8月～令和3年8月 公益財団法人 在宅医療助成勇美財団 在宅医療における感染症対策の教育および啓蒙等への助成, 助成金額 493千円, 研究課題: 「在宅医療を担うケアワーカーの新興・再興感染症ヘルスリテラシーを向上させるための取り組み」主任研究者: 松永早苗.

14 その他

- 1) 神奈川県健康医療局医療危機対策本部のコロナクラスター対策チーム（C-CAT）として定期情報交換会やクラスター対策を実施した。クラスター対策班の活動評価にむけて県、C-CATメンバーと共同研究を計画中である。
- 2) 独立行政法人国際協力機構青年海外事務局・JICA 海外協力隊技術専門委員として派遣隊員の選考に関わった。

佐藤 直子（実践教育センター）

2 学術論文

- 1) 佐藤直子（2021），医療提供体制の改革による計画的な病院統合・病棟再編に関する研究の動向，日本赤十字看護学会誌，第22巻第1号，41 - 49.

ハッ橋 のぞみ (実践教育センター)

2 学術論文

- 1) ハッ橋のぞみ, 石原美和 (2021), 新型コロナウイルス感染症神奈川県対策本部転院搬送班における看護師の活動の考察, 神奈川県立保健福祉大学誌, 第 18 巻第 1 号, 103-109.

和田 幹子（実践教育センター）

1 著書

- 1) 三嶋廣繁，木下久美子，國島広之，高山和郎，田中永昭和，中村二郎，星野ゆかり，松島由実，和田幹子（2021），糖尿病患者の注射療養に関する感染マネジメントバンドル 2021，糖尿病患者の注射療養に関するネットワーク 糖尿病患者の注射療養に関する感染マネジメントバンドル作成ワーキンググループ.

2 学術論文

- 1) 和田幹子（2021），セルフアドボカシー・スキル 患者さんや家族とともに，スキルアップをめざして，べんちのーと第 124 号，第 32 巻第 1 号，12-13.